

【診断書作成の際の留意事項】

- 1 じん機能 血清クレアチニン濃度については、必ず記入してください。
12歳未満の者については、内因性クレアチンクリアランス値も必ず記入してください。
なお、慢性透析療法を実施している者については、当該療法実施直前の検査値を記入してください。
- 2 臨床症状 それぞれの項目について、有無いずれかに 印を付け、有の場合は、それを裏付ける所見を記入してください。
- 3 現在までの
治療内容 慢性透析療法の実施の有無及び実施状況について記入してください。
なお、極めて近い将来に透析療法が必要となる場合は、その旨、総合所見欄等に記入してください。
- 4 日常生活の
制限による分
類 障害程度の認定の際重要な参考となるものですので該当する項目を慎重に選んでください。
なお、等級との関係は概ね次のとおりです。

等 級	日常生活の制限による分類
非該当	ア
4 級相当	イ
3 級相当	ウ
1 級相当	エ